

【事務事業調査】

事務事業名	資源ごみリサイクル事業費			予算科目	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業
				コード	001-04-02-01-003-01-03
担当部課	住民生活部環境課	担当	リサイクル係	事業の分類	既存事業
		係長	竹澤 伸一		

■事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か?	→	どのような成果が現れます(現れました)か?
計画	H22 事後評価 資源ごみ(空き缶、空きビン、古紙など)の回収運動をしようとする団体が、資源ごみ回収団体届出をして、資源ごみの共同収集を行った場合に、資源ごみの種類におうじた報償金を交付することで、廃棄物の再利用とごみの減量化や、生活環境の美化意識が図られています。実施回数は減少傾向にありますが、廃棄物の再利用とごみの減量化を進めるうえでも、有効な制度でありますのでPRに努めていきます。		報償金を交付することで、自主的な回収の輪が広がり、リサイクル意識の向上につながる。また、ごみの減量化が図られ処理費の削減と環境施設への負担軽減につながる。
	H24 事前評価 資源ごみ(空き缶、空きビン、古紙など)の回収運動をしようとする団体が、自主的に資源ごみを回収し再資源化することに対して、回収団体に報償金を交付し、廃棄物の再利用とごみの減量化を促進していきます。 参考:平成23年度上半期 登録団体9団体		
実績			

■活動指標

指標	目標値	達成値	特記事項
補助金交付件数(実施回数)	50件		

■事業費(計画)

【単位:千円】

細節	金額	積算根拠
1 報償費	550	資源びん1本5円×20,000本=100,000円 アルミ缶売上高 1,500,000円×30%=450,000円
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
	550	

■事業費(実績)

【単位:円】

細節	金額	特記事項
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
	0	

■事業経費

		計画 【千円】	実績 【円】	特記事項
予算	当初予算額	550		
	補正予算額			
	流用額			
	予算現額			
決算	決算額			
財源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計	0		
	差引(一般財源)	550		